

# 読者ふれあいページ

「こちら虹」は楽しかったこと、感動したこと、ちょこちょこを教えてください。「お助け倶楽部」は暮らしの中でアイデアやお知恵をお寄せください。紙上匿名ですが、付電話番号を明記ください。電話は土、日曜、祝日を除き、午

ある。喜んだ妻は、緑のプラントーをそっとベランダに置いた。「秋の夜長……

## 仏様に出会う

出雲市斐川町・仁照寺住職

江角 弘道

日本では、仏様になられたご先祖や故人の霊が、お盆の時期に帰って来られると考えられていて、家族や親戚がお仏壇の前に集まり、仏様をお迎えし、供養をします。

通常、その仏様は、私たちの目には見えないので、本当に帰っていらっしやるのかわかりません。しかしながら、仏様は肉眼では見えませんが、心の目を開くと、仏様に出会うことができるのです。

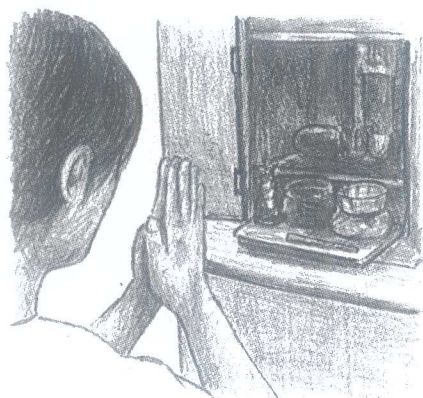
そのことを分かりやすく、携帯電話を使った簡単な理科実験で説明したいと思います。

ご存じのように、携帯電話は、ここにいない人とも話すことができます。つまり、見えない人とも話すことができます。それは、目に見えない電波、正確には電磁波がこの空間に広がっているからです。電磁波は、

# 混迷・生きる

教えの庭から

見えないけれどもありま。世の中には、空気など目に見えないものでもあっても、この空間に広がっています。今、理科実験として、私の携帯電話をアルミホイルで、包んでみます。そ



今の携帯電話まで届かないという事です。これは、車の運転中にトンネルに入ると、カーラジオが聞こえなくなるのと同じ現象なのです。仏様は、この電磁波とよく似ています。お経には、包んだら受信できなくなると、私たちは煩惱に包まれているから仏様が見えませんが、あなた心の仏様の声が聞こえ、姿が見えてきます。白隠禅師(1686~1769年)が「衆生本来仏なり」と言われたように、私たちはみな仏様の心を持っています。それは煩惱の真下にあるのです。そして、「仏様は、いつも離れずあなたの真正面にいらっしやう。母の子をおもうごとくまします」とお経にあるように、慈悲の面を向けて、私たちを見つめていらっしやいます。さらに、「仏様は、正法の雨(甘露の法雨)降らして、諸々の煩惱を消滅する(華嚴經)とあります。この空間に電磁波が広がっているように、この空間には仏様があふれているとい

して、他の人から電話をしてももらいます。そうすると、私の携帯電話の受信音はしません。つまり、私の携帯電話は、受信できなくなりました。これは、電磁波がアルミに吸収されて、その

「仏様は、この全宇宙に満ちていて、広くすべての命あるものの前に現れていません。」(華嚴經)と書いてあります。この空間に電磁波が広がっているように、この空間には仏様があふれているとい

3人でしりとりをしながら息を絞らせせていました。でも、これも良い思い

こころ

安らぎ

いやし

「教えの庭から」の執筆者に、今回から江角弘道さんが加わりました。江角さんは、出雲市斐川町在住の72歳。広島大学大学院で物理学を学び、広島電機大学工学部教授を務めた後に帰郷。実家の仁照寺の住職を務める傍ら、島根県立大学短期大学部教授として多くの学生に接してこられました。著書に「見えるのちと見えないのち」(理系和尚の求道記)、「文芸社」など。